

2011年度環境活動レポート

株式会社 敬聖工業



(対象期間:2011年11月1日～2012年1月31日)

作成日 : 2012年03月15日



株式会社 敬聖工業

目次

◆ 目次	1
◆ 環境方針	2
◆ 取組の対象組織、活動	3
◆ 環境目標とその実績	4
◆ 主要な環境活動計画の内容	4
◆ 取組結果の評価	5
電力消費の削減	5
ガソリン消費の削減	6
軽油消費量の削減	6
灯油消費量の削減	6
分別及びリサイクルの推進 一般廃棄物	7
分別及びリサイクルの推進 産業廃棄物 総量	7
分別及びリサイクルの推進 産業廃棄物 埋立処分量	7
水の消費の削減	8
化学物質への適切な対応	8
事務用品のグリーン購入	8
環境活動の社会貢献	9
目標未達成の再評価	9
次年度の活動計画	9
◆ 環境活動の紹介	10
◆ 環境関連法規等の遵守状況	11
◆ 代表者による全体の評価と見直し結果	12

株式会社 敬聖工業 環境方針

環境理念

当社は、解体業を営み、地域・社会・地球に共存する一員として、環境保全に取り組み、社会に貢献することを目指します。

行動指針

当社は、東京都の多摩地域を中心とした建物解体業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、事務所が自宅にあることから、家族及び従業員と協力し、EA21環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努めます。

微力ですが、環境の時代に世の中に存在感を持って輝きたいと、従業員一同切に思っています。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 事務所での廃棄物の削減、解体現場での廃棄物分別の徹底
 - 水資源の節水
 - 化学物質への適切な対応(現在、取扱い無し)
 - 事務用品のグリーン購入
 - 環境活動の社会貢献
3. この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日： 2011年10月17日

改定日： 2012年5月23日

代表取締役 川崎 敬

取組の対象組織、活動

◆組織の概要

- ① 名称及び代表者名
株式会社 敬聖工業
代表取締役社長 川崎 敬
- ② 所在地
本 社 東京都東大和市狭山2丁目1241番地の15
駐車場 東京都東大和市狭山2丁目1241番地の15

- ③ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 川崎 敬 TEL : 042-567-5872
担当者 川崎 ます美 TEL : 042-567-5872

④ 事業内容

- ・ とび、土木工事業(解体業)
- ・ 産業廃棄物収集運搬業

⑤ 事業の規模

活動規模	単位	21年	22年	23年
工事等の件数	件	66	67	49
売上高	百万円	32	29	34
従業員	人	5	5	5
事務所床面積	m ²	19.8	19.8	19.8
敷材置き場面積	m ²	約100	約100	約100
3tダンプ	台	1	1	1
4tダンプ	台	1	1	1
油圧ショベル	台	1	1	1

⑥ 事業年度

4月～3月

⑦ 資本金

1000万円

◆認証・登録の対象活動

登録組織名： 株式会社 敬聖工業（けいせいこうぎょう）
活動： ・ とび、土木工事業(解体業)
・ 産業廃棄物収集運搬業

◆許可・有資格

■産業廃棄物収集運搬業

東京都

許可番号 第13-00-132013号

許可年月日 平成18年12月4日

有効期限 平成28年12月3日

埼玉県

許可番号 第11-02-132013号

許可年月日 平成20年7月23日

有効期限 平成25年7月22日

神奈川県

許可番号 第14-02-132013号

許可年月日 平成23年12月22日

有効期限 平成28年12月21日

■廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、
ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類

■建設業許可

とび・土工工事業

許可番号 (般-23) 124798号

許可年月日 平成18年11月20日

有効期限 平成28年11月19日

■有資格

石綿使用建築物等解体等：2名

職長・安全衛生責任者：1名

車両系建設機械運転技能

特例講習修了証(解体用)：1名

車両系建設機械運転技能講習

(整地、運搬、積み込み用

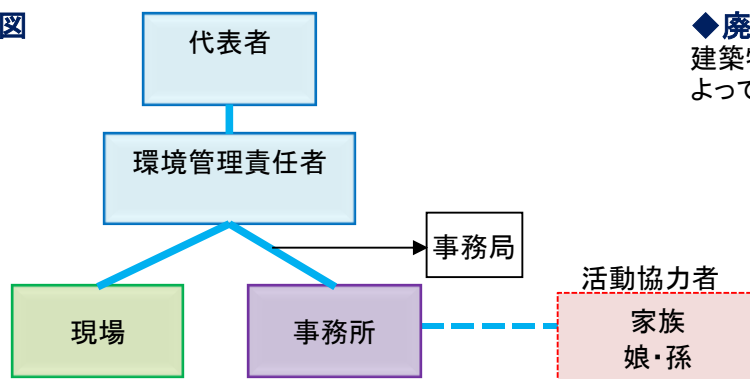
及び掘削用機械)：1名

ガス溶接：4名

足場組立等作業主任者：2名

石綿作業主任者：1名

◆組織図



◆廃棄物処理料金

建築物の構造、大きさ、距離などに
よって異なりますので、個別見積りとなります。

環境目標とその実績

環境方針	取組項目	年度				
		単位	2010年度 (実績)	2011年度 (目標)	2012年度 (実績)	2013年度 (目標)
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	%		-4	+19	-5
		(kg-CO ₂)	26,441	25,383	30,179	24,855
事務所での廃棄物の削減	分別及びリサイクルの推進	%		-1	-31	-2
		(kg/年)	120	119	82	116
解体現場での廃棄物分別の徹底	埋立処分量の削減	%		-1	+32	-2
		(t/年)	29.4	29.1	38.3	28.5
水資源の節水	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	%		-2	-4	-3
		(m ³ /年)	235	230	220	226
化学物質への適切な対応	現在事業活動では使用していません	%	-	-	-	-
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	%	48.6	50	55.5	55
環境活動の社会貢献	ボランティア参加(地域の清掃)、エコキャップ毎日回収等	回/年	0	1	1	2
		エコキャップ回収	×	毎日	○	毎日

- 電力使用量及び燃料使用量は、総量で管理する。
- 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対して個々で管理する。
- 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。
- グリーン購入は、当面事務用品について取組む。
- 上記の目標の他、作業現場の環境及び品質安全向上ために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む

主要な環境活動計画の内容

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減(kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃) ④ よしず、扇風機の利用	川崎ます美
	ガソリン消費量の削減(単位:L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖気運転・アイドリングストップ ③ エコドライブの実施	川崎 敬
	軽油消費量の削減(単位:L)		
	灯油消費量の削減(単位:L)	③ ヒーターの温度管理(冬季22℃±1℃)	
事務所での廃棄物の削減	分別及びリサイクルの推進(単位:t)	① 使用済みコピー用紙を再利用する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。(廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。)	川崎 ます美
解体現場での廃棄物分別の徹底	埋立処分量の削減	① 現場での廃棄物の分別を徹底 ② 現場での廃棄物の軽減 ③ 埋立処分量の軽減	川崎 敬
水資源の節水	事業所利用水の節水	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	川崎 ます美
化学物質への適切な対応(現在、取扱無し)	取扱の監視 取扱う場合は、適切な対応	① 取扱の監視	川崎 敬
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	① グリーン商品の購入 ② 充電式乾電池の使用	川崎 ます美
環境活動の社会貢献	地域の清掃、ボランティア参加、エコキャップ回収等	① ボランティアに積極的に参加 ② エコキャップの回収 ③ インクカートリッジの回収	川崎 敬
環境方針の周知	環境教育の促進	① 教育訓練計画書に基づき、実施する ② 環境方針、環境レポートを各車両に携帯 ③ 環境方針を事務所に掲示	川崎 敬

環境活動の取組結果の評価

方針	取組項目	年度	2011年		取組の評価	担当責任者	
			(目標)	(実績)			
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減(kWh)	%	-4	-30	節電行動が習慣化して、取組の成果が表 基準年に比べて使用量が増加している。原因を追及する。	川崎 ます美	
	消費量		6,234.2	4,338.0			
	ガソリン消費量の削減	%	-2	+106			川崎 敬
	消費量		612.5	1,259.1			
	軽油消費量の削減(単位:L)	%	-2	+12			
	消費量		9,209.1	10,347.3			
灯油消費量の削減(単位:L)	%	-2	-27	川崎 敬			
消費量		269.5	198.0				
二酸化炭素排出量の削減	%	-4	+19	川崎 敬			
(kg-CO ₂)		25,383.0	30,179.0				
事務所での廃棄物の削減	分別及びリサイクルの推進(単位:t)	%	-1	-31	裏紙を利用することにより、用紙の無駄な購入がなくなった。	川崎 ます美	
		(kg/年)	118.8	82.4			
解体現場での廃棄物分別の徹底	埋立処分量の削減	%	-1	+32	昨年に比べ処分量が増加している。	川崎 敬	
		(t/年)	29.1	38.3			
水資源の節水	事務所利用水の節水(単位:m ³)	%	-2	-4	節水の呼びかけを徹底することにより成果が出た。	川崎 ます美	
		(m ³ /年)	230.3	220.0			
化学物質への適切な対応	取扱の監視 取扱う場合は、適切な対応	% (拡大/年)	現在取扱無し		化学物質の取扱無し。今後も監視を継続する。	川崎 敬	
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	% (グリーン商品/事務用)	50	55.5	グリーン購入を意識してから明らかに成果が出ている。	川崎 ます美	
環境活動の社会貢献	ボランティア参加(地域の清掃)、エコキャップ毎日回収等	(件/年) エコキャップ回収	1 毎日	1 毎日	今後も継続していきたい。	川崎 敬	

電力消費の削減

不用時の消灯
機械設備・OA機器などのスイッチオフ
エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)
よしず、扇風機の利用

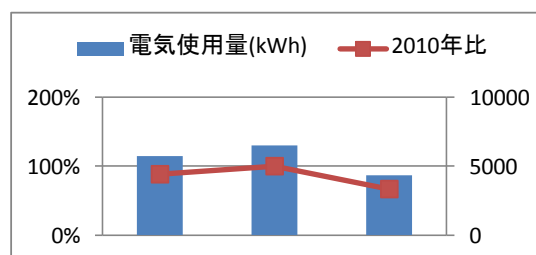
目標	6234	100.0%
結果	4338	69.6%
目標達成 33%削減(基準年比)		

評価

震災の影響で、節電意識が高まった。
エアコンの温度管理を徹底したため、成果が出た。
年末、年始に泊まりの来客が多かった為、使用量が増加した。
基準年より家族が2名増え、仕事の都合で入浴時間が異なるため、冬場のエコキュートの稼働時間が多くなり、使用量が増加している。
今のところ目標達成しているが、目標設定を見直した方がいいかもしれません。来年度を実施して検討します。

目標設定

電球をLEDに順次変更。
ソーラーパネルの増設を検討しています。



年度	2009年	2010年	2011年
電気使用量(kWh)	5734	6494	4338
2010年比	88%	100%	67%

環境活動の取組結果の評価

ガソリン消費量の削減

不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認
暖気運転・アイドリングストップ
エコドライブの実施

目標	613	100.0%
結果	1259.09	205.6%

目標不達成 101%増加(基準年比)

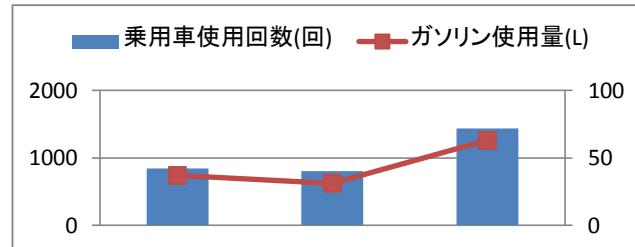
評価

ガソリン使用量が目標達成できなかった。
基準年に比べて、乗用車使用回数が増加している。
昨年までは、ダンプを使用しない現場でも、
ダンプ2台で現場に行っていたが、環境活動開始後は、
ダンプを使用しない現場では、
乗用車で現場に行くよう心がけている。
年々、見積りの件数も増加し、ガソリンを使用する回数
も増加しているの、目標設定を見直し、
目標達成を目指します。

P.9の売上比率を、ご参照ください。

目標設定

2011年度の使用量を基準値とし、来年は、2%削減の値を目標として設定します。



年度	2009年	2010年	2011年
乗用車使用回数(回)	42	40	72
ガソリン使用量(L)	739.115	624.87	1259.09

軽油消費量の削減

不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認
暖気運転・アイドリングストップ
エコドライブの実施

目標	9209	100.0%
結果	10347.34	112.4%

目標不達成 10%増加(基準年比)

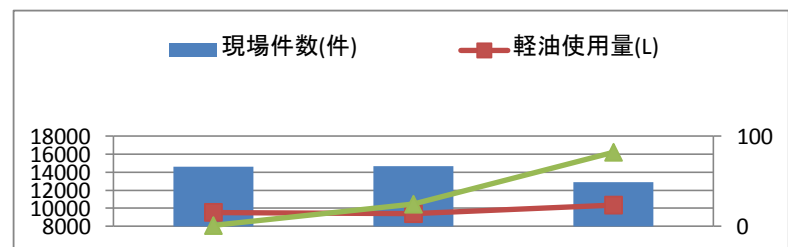
評価

軽油使用量が目標達成できなかった。
基準年に比べて、現場件数は変わらないが、
現場までの距離が増加している。前年比155%
軽油使用量は、前年比110%
1名、大型の免許を取得したので、ダンプを
レンタルして使用する現場が多くなった。
距離の増加比率に比べ、軽油使用量の増加比率が低
いのは、乗用車使用数が増加したためです。
目標設定を見直し、目標達成を目指します。

P.9の売上比率を、ご参照ください。

目標設定

2011年度の使用量を基準値とし、来年は、2%削減の値を目標として設定します。カーナビを購入します。



年度	2009年	2010年	2011年
現場件数(件)	66	67	49
軽油使用量(L)	9540.967312	9397.07	10347.34
現場までの距離(km)(※)	8079.176	10447.352	16217.864

※(現場までの往復距離 × 工事日数) +
(現場までの往復距離 × ダンプレンタル日数)

灯油消費量の削減

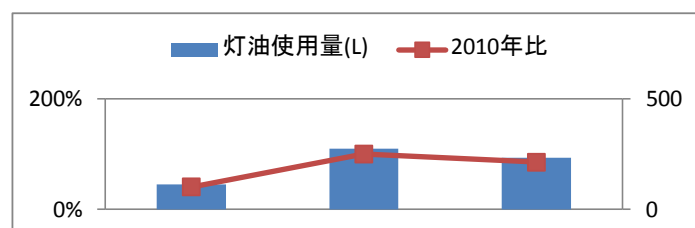
ヒーターの温度管理(冬季22℃±1℃)

目標	269.5	100.0%
結果	198.0	73.5%

目標達成 15%削減(基準年比)

評価

厚着を心がけ、1部屋に集まることにより、
暖房器具の使用が減った。
現状維持し、来年度も目標達成を目指します。



年度	2009年	2010年	2011年
灯油使用量(L)	112	274.73	234
2010年比	41%	100%	85%

環境活動の取組結果の評価

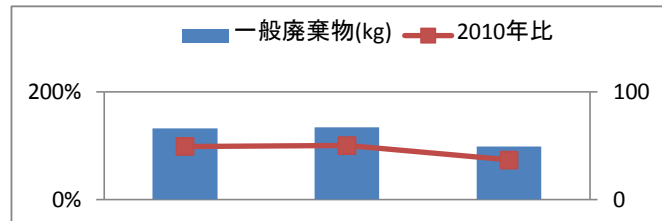
分別及びリサイクルの推進 一般廃棄物

使用済みコピー用紙を再利用する。
無駄な資機材を購入しない。
廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。
(廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。)

評価

無駄な資機材の購入はせず、
不要品をリサイクル業者に持ち込む習慣に
なった。また、プリント済の裏紙を利用する
ことにより、コピー用紙の無断な購入が減り、
ゴミが少なくなった。
現状維持し、来年度も目標達成を目指します。

目標	118.8	100.0%
結果	82.4	69.4%
目標達成 37%削減(基準年比)		



年度	2009年	2010年	2011年
一般廃棄物(kg)	66	67	49
2010年比	99%	100%	73%

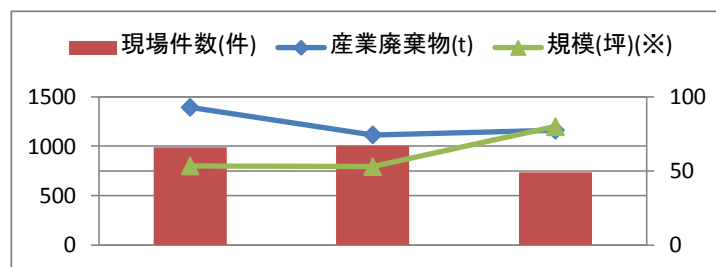
分別及びリサイクルの推進 産業廃棄物(総量)

現場での廃棄物の分別を徹底
現場での廃棄物の軽減

評価

産業廃棄物が目標達成できなかった。
基準年に比べて、現場件数は変わらないが、
現場の規模が増大した。前年比151%
産業廃棄物の量は、前年比104%
現場規模で見ると、削減ができている。
目標設定を見直し、目標達成を目指します。
P.9の売上比率を、ご参照ください。

目標	1103	100.0%
結果	1160	105.2%
目標不達成 4%増加(基準年比)		



年度	2009年	2010年	2011年
現場件数(件)	66	67	49
産業廃棄物(t)	1392.109	1114.032	1160.968
規模(坪)(※)	799	792.3	1196.25

※坪数の合計。坪数の不明なものは、売上 ÷ 30000 で坪数を換算。
伐採や、内装解体などは規模に含めていません。

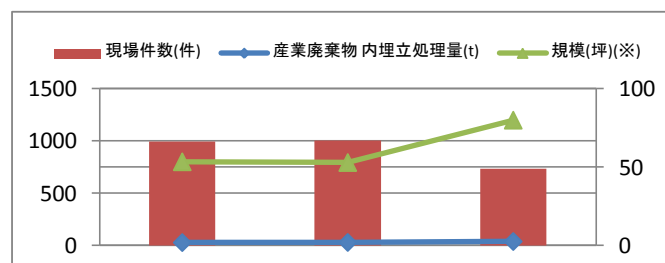
埋立処分量の削減

現場での廃棄物の分別を徹底
埋立処分量の軽減

評価

埋立処分量が目標達成できなかった。
基準年に比べて、現場件数は変わらないが、
現場の規模が増大した。前年比151%
埋立処分の量は、前年比131%
現場規模で見ると、削減ができている。
目標設定を見直し、目標達成を目指します。
P.9の売上比率を、ご参照ください。

目標	29	100.0%
結果	38.3	131.6%
目標不達成 31%増加(基準年比)		



年度	2009年	2010年	2011年
現場件数(件)	66	67	49
産業廃棄物 内埋立処理量	28.0605	29.3475	38.34
規模(坪)(※)	799	792.3	1196.25

※坪数の合計。坪数の不明なものは、売上 ÷ 30000 で坪数を換算。
伐採や、内装解体などは規模に含めていません。

目標設定

2011年度の使用量を基準値とし、来年は
2%削減の値を目標として設定します。

環境活動の取組結果の評価

水の消費の削減

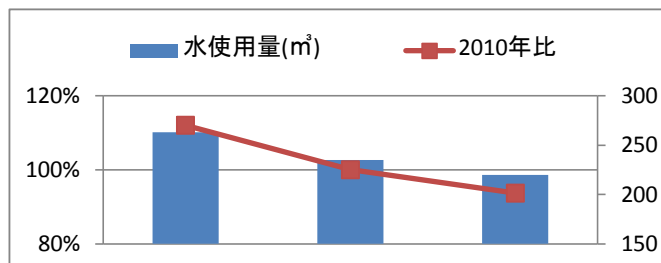
水洗トイレの水使用量を減らす。
水を流しながらの洗い物はしない。

目標	230	100.0%
結果	219.96	95.5%

目標達成 6%削減(基準年比)

評価

節水の呼びかけを徹底することにより、成果が出た。
しかし、家族が2名増えたので、徐々に使用量が増加してきている。
特に、冬場は仕事の都合で入浴時間が異なる為、エコキュートの稼働時間が多く、使用量が増えた。
また、水洗トイレの水を流す栓が閉まらない状態であったことがあった。
目標設定を見直し、目標達成を目指します。



年度	2009年	2010年	2011年
水使用量(m³)	263	234.78	219.96
2010年比	112%	100%	94%

目標設定

2011年度の使用量を基準値とし、来年は2%削減の値を目標として設定します。すすぎ1回の洗濯洗剤を使用します。
節水トイレの購入を検討します。食洗機を積極的に使用します。

化学物質への適切な対応

取扱いの監視

評価

現在、化学物質の取扱いはありません。
取扱いの監視を継続し、取扱う場合は、適切な対応をします。

事務用品のグリーン購入

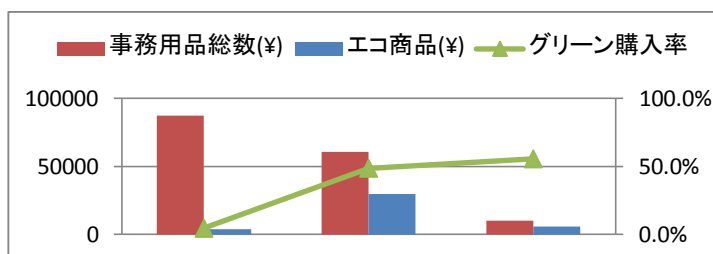
グリーン商品の購入
充電式乾電池の使用

目標	50	100.0%
結果	55.5	111.0%

目標達成 11%増加

評価

環境活動を勉強し、グリーン購入を理解してからは、グリーン商品がないもの以外は、意識して、グリーン購入している。
マニフェスト用紙は、グリーン商品がないので、100%グリーン購入することができない。
現状維持し、来年度も目標達成を目指します。



年度	2009年	2010年	2011年
事務用品総数(¥)	87400	60793	10183
エコ商品(¥)	3950	29530	5649
グリーン購入率	4.5%	48.6%	55.5%

環境活動の取組結果の評価

環境活動の社会貢献

ボランティアに積極的に参加
エコキャップの回収
インクカートリッジの回収

目標	1	100.0%
結果	1	100.0%
目標達成		

評価

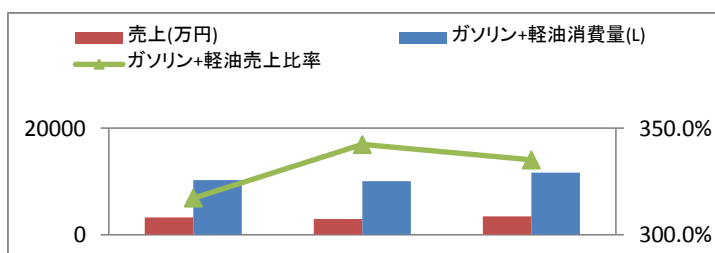
清掃のボランティアに参加した。
エコキャップの回収、インクカートリッジの回収をして、まとめて集積所に持ち込んだ。
現状維持し、来年度も目標達成を目指します。

目標未達成の再評価 売上比率

年度	2009年	2010年	2011年
売上(万円)	3241	2928	3464
ガソリン消費量(L)	739.1	624.8	1259
ガソリン売上比率	22.8%	21.3%	36.3%
軽油消費量(L)	9541	9397	10347
軽油売上比率	294.4%	320.9%	298.7%
産業廃棄物総量(t)	1392.109	1114.032	1160.968
産廃総量売上比率	43.0%	38.0%	33.5%
内埋立処分量(t)	28.0605	29.3475	38.34
内埋立処理量売上	0.9%	1.0%	1.1%

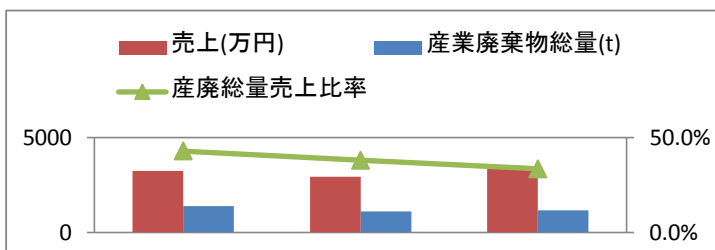
ガソリン、軽油

売上比率を確認すると、
ガソリンは、15%上昇しているが、
軽油は、22%減少している。
問題なしと評価できる。



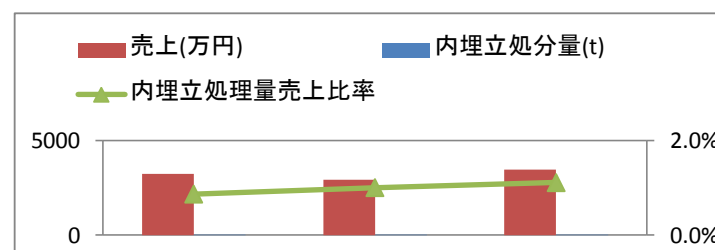
産業廃棄物総量

売上比率を確認すると、
4%減少しているので、
問題なしと評価できる。



産業廃棄物埋め立て処分量

売上比率を確認すると、
1%増加している。
産業廃棄物の分別をより徹底
して、目標達成を目指します。



次年度の活動計画

登録審査での初期活動であるため、次年度も今期活動を継続して実施することとします。

環境活動の紹介

雨水の再利用



庭のガレージにドラム缶、雨水タンクを設置し、雨水を貯めて、洗車、散水に利用しています。

ガレージの「雨とい」よりドラム缶に雨水を貯めて、ドラム缶から雨水タンクに雨水が移動します。

雨水タンクの中にモーターを入れて、庭のスプリンクラーにつないでいます。ドラム缶から直接雨水を汲み、洗車に利用しています。

エコキャップの回収



エコキャップを回収し、まとめて西武信用金庫さんか、石坂産業さんに持ち込んでいます。

インクカートリッジの回収



インクカートリッジの回収ボックスを作り、まとまったら、コジマ電気の回収ボックスに持ち込んでいます。

ボランティアの参加



清掃ボランティアに参加しました。



ソーラーパネルの設置



南側の屋根にソーラーパネルを設置しています。ソーラーパネルの増設を検討しています。

スイッチコンセントの利用



スイッチコンセントを利用し、使用するとき、スイッチをONにしています。

環境活動PR



地域の業者だから出来る
きめ細やかな心配り。
環境にやさしい街づくりに
貢献いたします！

解体工事
お見積り無料
迅速対応
認可業者

坪25,000円
お見積り無料
迅速対応
認可業者

エコアクション21達成中
エコアクション21とは、事業活動のシステムや
事業活動に必要となる資源の削減と、
環境負荷の低減を目指す取り組みです。

株式会社 敬聖工業 TEL.042-567-5872
〒201-0005 東京都文京区大塚1-14-15 FAX.042-567-5872

市内循環バスにポスターを掲示し、「エコアクション21」取得中であることをアピールしています。

環境関連法規等の遵守状況

作成日:	平成23年10月25日
改訂日:	平成23年12月23日
順守状況確認日:	平成24年3月15日
順守状況確認者:	川崎 敬

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。
毎年2月に一覧表を見直し、遵法状況をチェック

環境法規制等の 名称/略称	規制内容 届出、作業等	順守 状況
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	○
リサイクル法	解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事	○
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上・新築・増築工事-500㎡以上・修繕・模様替工事-1億円以上・その他の工作物に関する工事（土木工事等）-500万円以上	○
容器包装リサイクル法	建設工事全般	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出（作業所あるいは詰所の家電が対象）	○
(地方条例を入れる)		
<同意するその他の要求事項>		
建設廃棄物処理指針 (平成22年度版)	産業廃棄物の処理、委託	○
優良産廃処理業者制度運用マニュアル	産業廃棄物の適正委託	○
建設副産物適正処理推進要綱	建設副産物が発生する建設工事	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	建設汚泥が発生する作業	○
石綿含有廃棄物等処理マニュアル (第2版)	石綿含有廃棄物の処理	○
大気汚染		
	解体・改修工事に伴う「特定建築材料(石綿等)」の除去作業	○
建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	マイクロバス、貨物車、クレーン車、コンクリートミキサー車など	○
オフロード法	ブルドーザ、クローラークレーン、くい打ち機、タワークレーン、ドリルジャンボなど	○
フロン回収破壊法	解体工事（改修工事）	○
(地方条例を入れる)		
<同意するその他の要求事項>		
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業等	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	国土交通省直轄工事	○
騒音・振動		
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	○
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破砕機を使用する作業	○
(地方条例を入れる)		
水質汚濁（排水）		
浄化槽法	現場宿舍	○
(地方条例を入れる)		
<同意するその他の要求事項>		
土壤環境基準（環境基本法）	土工事	○
地下水環境基準（環境基本法）	土工事	○
土壤汚染対策法に基づく調査及び措置、汚染土壌の運搬及び処理に関するガイドライン		○
その他の関連法令		
消防法（危政令）	火気の使用	○
環境影響評価法	環境影響評価	○
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベ使用	○
(地方条例を入れる)		
<同意するその他の要求事項>		
建設工事公衆災害防止対策要綱（建築・土木）	工事全般、解体工事	○
学校環境衛生の基準	学校の新築・改築・改修工事	○
作業所で同意するその他の要求事項	・時間外の作業	○
	環境経営	○
建設業の環境自主行動計画 第4版（改訂版）	環境経営	○
	環境保全	○

代表者による全体の評価と見直し結果

平成23年11月から3カ月間の取組となりましたが、
「エコアクション21」に参加できたことが大変意義のあるものでありました。
社員、家族が協力し、なんとか運用することができました。
内容的には、家族が増えたことと、工事規模の増加はあったものの、分析すると
目標はほぼ達成できていました。
基準年より、家族が増えたことと、営業規模、営業地域の増加があったため
基準値の設定を見直す必要があると思います。
単純に削減するのではなく、現場までの距離、規模、産業廃棄物の量などで基準値の設定を
検討しようと思います。
環境方針、環境活動計画は、このまま実施していきます。
来年度は、環境経営マニュアルを作成し、明確なルール作りをしていきたいと思っています。

家族を含め、全社員が意識をもち、この調子で継続して環境
活動を実施、チャレンジし続けていきたいと思っています。